



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日
上場取引所 東 名

上場会社名 東陽倉庫株式会社
 コード番号 9306 URL http://www.toyo-logistics.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武藤 正春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 渡邊 誠
 管理本部長兼経理部長 TEL 052-581-0251
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,081	8.7	722	30.0	908	27.2	535	7.6
2019年3月期第2四半期	13,869	4.7	555	19.7	714	16.2	497	15.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 488百万円 (△21.5%) 2019年3月期第2四半期 622百万円 (△3.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	14.02	—
2019年3月期第2四半期	13.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	42,125	19,580	46.5
2019年3月期	41,628	19,244	46.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 19,580百万円 2019年3月期 19,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	3.50	—	4.00	7.50
2020年3月期	—	4.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	3.6	1,300	6.1	1,600	5.5	1,030	0.9	26.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	39,324,953株	2019年3月期	39,324,953株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,146,540株	2019年3月期	1,146,318株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	38,178,579株	2019年3月期2Q	38,139,925株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
第2四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、堅調な内需を背景に引き続き緩やかな回復基調となりました。設備投資は幅広い業種において増加を続け、輸出も増加傾向にありました。一方、長期化が予想される米中貿易摩擦及び中国経済の減速の影響により製造業を中心に設備投資に慎重な姿勢が見られるなど、減速傾向が強まり先行き不透明な状況となっております。

物流業界の貨物取扱量は、国内貨物の取扱いは後半弱さがみられたものの堅調に推移し、保管残高は高水準で推移しました。輸出貨物は完成自動車や産業機械等が減少し、輸入貨物はLNGや鉄鉱石が減少しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、企業理念である『「もの」づくり、人の「くらし」を支える』を踏まえ、社会と人々の生活に役立つことを目指し、持続的成長を続けるため、①運送体制と流通拠点の強化による3PL物流の推進、②海外拠点の拡充を含めたグローバルな業務の強化、③不動産賃貸料等の安定収入の拡大、を中心に営業力の強化を図るとともに、経営の効率化をより一層推進し、経費の節減に努めてまいりました。

また、当社グループは、持続的成長と中長期的な企業価値の向上に努め、営業収益の拡大を図るとともに、収益性及び経営効率の観点から、「売上高経常利益率5%」、「自己資本利益率5%」を目標値として設定しております。

事業のセグメント別及び連結の業績は次のとおりであります。

<物流事業>

保管料、物流管理料、陸上運送料等の収入が増加したことにより、営業収益は前年同四半期と比べ1,204百万円(8.9%)増加し、14,795百万円となりました。セグメント利益は前年同四半期と比べ125百万円(16.7%)増加し、879百万円となりました。

<不動産事業>

請負工事が減少したものの、劇場跡地のホテル事業者への賃貸及び時間貸駐車場の運営による賃貸料が増加したことにより、営業収益は前年同四半期と比べ8百万円(3.2%)増加し、287百万円となりました。セグメント利益は前年同四半期と比べ18百万円(18.4%)増加し、121百万円となりました。

<連結>

上記の結果、営業収益は前年同四半期と比べ1,212百万円(8.7%)増加し、15,081百万円となりました。営業利益は前年同四半期と比べ166百万円(30.0%)増加し、722百万円となりました。経常利益は前年同四半期と比べ193百万円(27.2%)増加し、908百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べ37百万円(7.6%)増加し、535百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、受取手形及び営業未収入金が272百万円、投資有価証券が192百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が958百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ496百万円(1.2%)増加し、42,125百万円となりました。

負債につきましては、その他流動負債が327百万円、支払手形及び営業未払金が88百万円それぞれ減少したものの、長期借入金が544百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ160百万円(0.7%)増加し、22,545百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が65百万円減少したものの、利益剰余金が382百万円、退職給付に係る調整累計額が19百万円それぞれ増加したことにより、前連結会計年度末と比べ336百万円(1.7%)増加し、19,580百万円となりました。

当社グループは、持続的成長へ向け、積極的な設備投資を実施する方針であります。同時に、有利子負債残高、金利水準等に留意しながら安定的な財政状態を維持するよう努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,805,049	4,763,459
受取手形及び営業未収入金	6,994,328	6,722,153
リース債権及びリース投資資産	97,429	97,094
原材料及び貯蔵品	142,558	130,450
その他	490,853	572,796
貸倒引当金	△1,874	△1,790
流動資産合計	11,528,344	12,284,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,208,532	10,036,855
土地	8,655,399	8,738,288
その他(純額)	1,607,412	1,563,637
有形固定資産合計	20,471,344	20,338,781
無形固定資産		
投資その他の資産	349,730	323,000
投資有価証券	6,520,157	6,327,528
リース債権及びリース投資資産	1,164,327	1,115,746
その他	1,597,693	1,739,126
貸倒引当金	△2,628	△2,618
投資その他の資産合計	9,279,549	9,179,783
固定資産合計	30,100,624	29,841,565
資産合計	41,628,969	42,125,729
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,291,482	2,203,111
短期借入金	3,155,569	3,180,232
未払法人税等	244,243	307,034
引当金	280,823	298,580
その他	1,319,612	992,442
流動負債合計	7,291,729	6,981,400
固定負債		
長期借入金	10,475,685	11,020,319
引当金	33,760	33,760
退職給付に係る負債	2,280,381	2,234,739
資産除去債務	115,016	116,081
その他	2,188,042	2,158,920
固定負債合計	15,092,885	15,563,820
負債合計	22,384,615	22,545,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,412,524	3,412,524
資本剰余金	2,186,693	2,186,693
利益剰余金	13,281,941	13,664,512
自己株式	△269,323	△269,393
株主資本合計	18,611,836	18,994,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	899,171	833,689
退職給付に係る調整累計額	△266,654	△247,518
その他の包括利益累計額合計	632,517	586,170
純資産合計	19,244,353	19,580,508
負債純資産合計	41,628,969	42,125,729

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	13,869,004	15,081,836
営業原価	12,881,720	13,920,922
営業総利益	987,284	1,160,914
販売費及び一般管理費	431,631	438,342
営業利益	555,652	722,571
営業外収益		
受取利息	1,203	288
受取配当金	65,269	69,713
持分法による投資利益	99,313	106,328
助成金収入	5,968	3,920
その他	13,675	25,934
営業外収益合計	185,430	206,185
営業外費用		
支払利息	24,269	18,604
その他	2,751	2,131
営業外費用合計	27,021	20,736
経常利益	714,061	908,021
特別利益		
固定資産売却益	8,173	4,499
投資有価証券売却益	148	—
特別利益合計	8,321	4,499
特別損失		
投資有価証券評価損	1,273	99,485
固定資産除売却損	663	10,495
投資有価証券売却損	—	3,321
災害損失引当金繰入額	10,255	—
災害による損失	1,876	—
特別損失合計	14,068	113,302
税金等調整前四半期純利益	708,315	799,218
法人税、住民税及び事業税	216,016	304,586
法人税等調整額	△5,320	△40,654
法人税等合計	210,695	263,932
四半期純利益	497,619	535,286
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	497,619	535,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97,602	△65,482
退職給付に係る調整額	27,771	19,135
その他の包括利益合計	125,374	△46,346
四半期包括利益	622,993	488,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622,993	488,939

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	物流事業	不動産事業	合計
営業収益			
外部顧客への営業収益	13,591,301	277,702	13,869,004
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	642	642
計	13,591,301	278,344	13,869,646
セグメント利益	754,159	102,681	856,840

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	856,840
全社費用及び全社営業外損益(注)	△142,778
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	714,061

(注)全社費用及び全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び管理部門の営業外損益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	物流事業	不動産事業	合計
営業収益			
外部顧客への営業収益	14,795,543	286,293	15,081,836
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	1,032	1,032
計	14,795,543	287,325	15,082,868
セグメント利益	879,881	121,537	1,001,418

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,001,418
全社費用及び全社営業外損益(注)	△93,397
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	908,021

(注)全社費用及び全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び管理部門の営業外損益であります。